



Photostud

## THE SPRINTERS STAKES

## 第59回 スプリンターズステークス (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 170,000,000円 68,000,000円 43,000,000円 26,000,000円 17,000,000円  
付加賞 3,360,000円 960,000円 480,000円



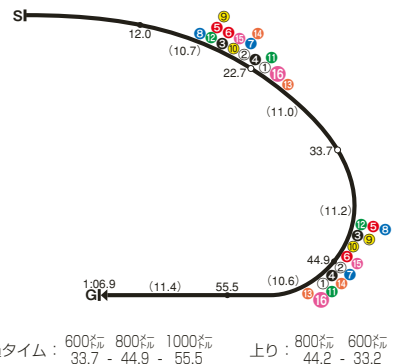
レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 3歳56<sup>+</sup> 4歳以上58<sup>+</sup>、牝馬2<sup>+</sup>減

2025.9.28 中山 晴・良 芝1200m (国際) (確定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ウインカーネリアン	牡 8	58	三浦皇成	1:06.9	2-2	33.0	514(+2)	50.0①	鹿戸雄一(美浦)	116
2	⑬	ジュンブレア	牝 4	56	武 豊	アタマ	1-1	33.2	490(±0)	20.2②	武 英智(栗東)	111
3	⑥	ナムラクレア	牝 6	56	C.ルメール	1½	11-9	32.7	478(±0)	5.7②	長谷川浩大(栗東)	107
4	⑦	サトノレーヴ	牡 6	58	J.モレイラ	ハナ	6-7	33.0	538(-)	2.2①	堀 宣行(美浦)	111
5	②	ヨシノイスター	牡 7	58	内田博幸	クビ	6-7	33.1	486(-8)	82.0③	中尾秀正(栗東)	110
6	③	ダノンマッキンリー	牡 4	58	横山典弘	ハナ	11-12	32.8	476(+19)	81.5③	藤原英昭(栗東)	110
8	④	ママコチャ	牝 6	56	岩田望来	同着	5-5	33.2	500(+2)	8.0③	池江泰寿(栗東)	106
6	①	ビューロマジック	牝 4	56	松山弘平	1	3-3	33.4	462(+16)	10.5④	安田翔伍(栗東)	104
9	⑤	カンチェンジュンガ	牡 5	58	坂井瑠星	1	13-14	32.8	490(-6)	28.3④	庄野靖志(栗東)	105
10	⑪	トウシンマカオ	牡 6	58	横山武史	アタマ	3-3	33.6	480(+8)	12.4④	高柳瑞樹(美浦)	105
11	⑩	ラッキースウィネス	牝 7	58	K.リヨン	クビ	9-11	33.3	524(-23)	36.6④	K. マン(香港)	104
12	⑧	ルガル	牡 5	58	川田将雅	½	9-9	33.3	522(±0)	8.2④	杉山晴紀(栗東)	103
13	⑧	ベアボックス	牡 4	58	松若風馬	ハナ	16-14	32.8	472(-4)	52.9⑤	梅田智之(栗東)	103
14	⑨	ドロップオブライイト	牝 6	56	丹内祐次	¾	13-12	33.1	448(+2)	178.5⑤	福永祐一(栗東)	97
15	②	ヤマニンアルリフラ	牡 4	58	団野大成	2	13-14	33.4	498(+4)	140.0⑤	斉藤崇史(栗東)	96
16	④	カピリナ	牝 4	56	戸崎圭太	½	6-5	34.0	480(+6)	36.4⑤	田島俊明(美浦)	91

単勝⑩5,000円(11<sup>+</sup>%) 複勝⑩1,250円(12<sup>+</sup>%) ⑬540円(7<sup>+</sup>%) ⑥210円(2<sup>+</sup>%) 枠連⑦-⑩3,150円(15<sup>+</sup>%)  
馬連③-⑩60,830円(76<sup>+</sup>%) ワイド③-⑩14,410円(79<sup>+</sup>%) ⑥-⑩5,850円(49<sup>+</sup>%) ⑥-⑩2,030円(19<sup>+</sup>%)  
馬単③-⑩119,920円(149<sup>+</sup>%) 3連複⑥-⑩116,720円(216<sup>+</sup>%) 3連単⑩-③⑥1,301,150円(1,576<sup>+</sup>%)  
5重勝③⑥⑩⑨②29,648,050円(19票) 対象競走: 中山9R/阪神10R/中山10R/阪神11R/中山11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m  
33.7 - 44.9 - 55.5 44.2 - 33.2

### アラカルト

- ・三浦皇成騎手はスプリンターズS初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算23勝目
- ・鹿戸雄一調教師はスプリンターズS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算16勝目
- ・スクリーンヒーロー産駒はJRA重賞通算26勝目
- ・8歳馬の勝利は10年ウルトラファンタジー以来15年ぶり、通算2回目。8歳馬のJRA・GI(Ⅳ、Ⅰ)制覇は18年JBCスプリント(京都で実施)グレイスフルリブに続く通算6回目
- ・馬連60,830円、馬単119,920円は同式別における本競走の最高払戻金額
- ・非抽選馬 1頭(アスクワンタイム)

# ウインカーネリアン *Win Carnelian*

牡 栗毛 2017.4.16生  
北海道新冠町 コスモヴェューファーム生産  
馬主・榎ウイン 美浦・鹿戸雄一厩舎  
馬名意味・冠名+宝石名

クリスチャンネームGB系 F13-9

スクリーンヒーロー 栗毛 2004	グラスワンダーUSA 栗毛 1995	Silver Hawk Ameriflora
	ランニングヒロイン 鹿毛 1993	サンデーサイレンスUSA ダイナクトレス
コスモクリスタル 黒鹿毛 2006	マイネルラヴUSA 青鹿毛 1995	Seeking the Gold Heart of Joy
	クリスチャンネームGB 栗毛 1993	Cadeaux Genereux Colorvista

5代までのクロス：Hail to Reason S5×S5 Northern Dancer S5×S5

## INTERVIEW

岡田義広代表(コスモヴェューファーム)

### とにかく驚きました

本来G Iの時は牧場からスタッフを連れて競馬場に行くのですが、不利な大外枠でしたし強い相手も揃っていたので、今回はスタッフを連れて行かなかったんです。それぐらい勝つ自信はなかったのですがこの結果にはとにかく驚きました。牧場にとっては初の国内G I制覇。頑張ってくれた本馬はもちろんのこと、この馬にかかわってくださったすべての方に感謝いたします。

H. Ozawa



G Iシリーズの開幕戦を彩った。初制覇を達成。大きな試練を乗り越えて念願を叶えた人馬のドラマが、秋のG Iシリーズの開幕戦を彩った。

競り勝った。根性が僅かに優り、アタマ差の接戦に競り勝った。

### 父スクリーンヒーロー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央23戦5勝(ジャパンC<sup>G1</sup>、アルゼンチン共和国杯J<sup>G2</sup>、天皇賞(秋)<sup>G1</sup>2着)、最優秀4歳以上牡馬、10年から供用〔代表産駒〕**モーリス**(天皇賞(秋)<sup>G1</sup>、チャンピオンズマイル・香<sup>G1</sup>、香港マイル<sup>G1</sup>、香港C<sup>G1</sup>、安田記念<sup>G1</sup>、マイルチャンピオンシップ<sup>G1</sup>)、**ゴールドアクト**(有馬記念<sup>G1</sup>)、**ウインマリリン**(香港ヴァーズ<sup>G1</sup>)、**ウインカーネリアン**(本馬)、**ジェネラーレウーノ**(セントライト記念<sup>G2</sup>)、**アートハウス**(ローズS<sup>G2</sup>)、**クールキャット**(フローラS<sup>G2</sup>)、**ウイングレイテスト**(スワンS<sup>G2</sup>)、**ピースオブエイト**(毎日杯<sup>G2</sup>)、**グアンチャーレ**(シンザン記念<sup>G2</sup>)、**ミュゼエイリアン**(毎日杯<sup>G2</sup>)、**トラスト**(札幌2歳S<sup>G2</sup>)、他に活躍馬多数

### 母コスモクリスタル

北海道日高町 荒井ファーム生産 中央22戦4勝(美利河特別、基坂特別) ウインアメジスト(12 牝父コンデユイトIRE) ウインガーネット(13 牝父ヴィクトワールピサ)中央23戦1勝、地方4戦3勝 ウインシトリン(14 牝父ステイゴールド)中央23戦2勝、地方1戦0勝 ウィンルチル(15 牝父ステイゴールド)中央28戦2勝(西尾特別) ルビーガール(16 牝父ナカヤマフェスタ)中央3戦0勝、地方9戦0勝 **ウインカーネリアン** 本馬(17 牝父スクリーンヒーロー)中央30戦9勝(スプリンターズS<sup>G1</sup>、東京新聞杯<sup>G2</sup>、関屋記念<sup>G2</sup>、米子S・L、谷川岳S・L、幕張S、茨城新聞杯、芙蓉S<sup>G2</sup>2着、京阪杯<sup>G2</sup>2着、東京新聞杯<sup>G2</sup>2着、シルクロードS<sup>G2</sup>3着、皐月賞<sup>G1</sup>4着)、首、北米3戦0勝(アルクオーツスプリント・首<sup>G1</sup>2着) 獲得総賞金519,736,500円 ウィンモリオン(18 牝父ローゼンインメイUSA)中央2戦0勝、地方42戦8勝 ウィンアイオライト(20 牝父スクリーンヒーロー)中央19戦2勝(菊1特別、地方5戦3勝 ㊦) (23 牝父ウインブライト) (24 牝父シルバーステート) ※19、21、22(不受胎)、25(前年種付せず)

### 祖母クリスチャンネームGB

中央1勝(函館3歳S<sup>G3</sup>3着)、94年輸入、11年用途変更  
マイネルクロイツ(05 牝父シンボリクリスエスUSA)中央2勝  
コスモクリスタル(06 前出)

### 曾祖母カラーヴィスタ Colorvista

イギリス産 不出走、**ムーディアー** Mudeer(レーシングポストロフィー・英<sup>G1</sup>2着、ダーレーS・英1.2着)の母

## 試練を乗り越えた人馬がG I初制覇

断然の支持を集めた高松宮記念の覇者サトノレーヴには、春秋スプリントG I制覇と1年前(1番人気7着)の雪辱が、対抗候補と目されたナムラクレアには悲願の戴冠がかかる。他にも様々な快挙や「想い」が持ち寄られた秋の快足王決定戦・スプリンターズS。その軍配は8歳の古豪ウインカーネリアンと、デビュー年(2008年)に新人最多勝記録を樹立した経歴を持つ三浦皇成騎手のコンビにあがった。

引き当てたのは「不利」とされる大外16番枠。しかし序盤からリズムよく運ぶためには、むしろ「絶好の枠と感じた」という三浦騎手は好スタートを決めると、先手を主張したジュニア

前年6000回の通過が33秒7と、落ち着いたラップを刻んで逃げたジュニア

ナムラクレアは4コーナーから加速 三浦騎手もすかさず応戦して外に並びかける。少し水を開けられた後続も反撃にかかったが、なかなか差を詰められず、

直線は十分な余力を残していた前の2頭の1騎打ちに。4歳牝馬と8歳牡馬の熾烈な攻防はゴールまで続いたものの、最後はウインカーネリアンの勝負根性が僅かに優り、アタマ差の接戦に競り勝った。

コントレイルと同世代で皐月賞(4着、ダービー(17着)にも出走した本馬は4歳時に蹄葉炎を発症、1年の長期休養を余儀なくされた。それでも復帰にこぎつけた翌年にはサマーマイルシリーズの王者に輝き、昨年からスプリント戦を主体に活躍。惜敗を重ねながらも地力を磨き、ついに頂点の勲章を掴んだ。一方、16年の落馬事故で復帰を危ぶまれたほどの重傷を負い、

1年余りの療養生活を送った三浦騎手も、127回目の挑戦でJRA・G I初制覇を達成。大きな試練を乗り越えて念願を叶えた人馬のドラマが、秋のG Iシリーズの開幕戦を彩った。